

《まめ知識》



航空機のタイヤ

2009年9月

飛行機に乗ったことがありますか？乗るのが苦手という方もいると思いますが、今回は航空機に使われているゴムのタイヤをご紹介します。

みなさんも想像できると思いますが、航空機のタイヤは非常に厳しい環境で働いています。大型旅客機のタイヤ1本にかかる荷重は約25トン。離陸時の速度は時速260kmを越え、さらに滑走中は摩擦によってタイヤの温度は100にもなり、寒冷地や上空では低温にさらされます。そのため、厳しい環境に耐えられる強さがなければなりません。

さて、そんなスーパーマンのような航空機のタイヤには、合成ゴムではなく、天然ゴムが使われています。合成ゴムは、石油を原料とし、求める特性ごとに化学的に変化させて生成するものなのですが、この航空機のタイヤに使えるほどの強靱なゴムは、生成できないのです。天然ゴムがなければ、私たちは飛行機で海外に行くなんてことは出来なかったかもしれません。天然のすごさを感じますね！！

* もちろん、合成ゴムの方が天然ゴムよりも優っている性質もあります。

- ・天然ゴム：ゴム植物から採取された樹液を原料としたゴム
- ・合成ゴム：石油を利用し、求める特性ごとに化学的に生成したゴム

Copyright(c) 2006 OKAYAMA CO., LTD. All Right Reserved



〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目32番7号

TEL 03-5688-6700 / FAX 03-5688-6709 [E-MAIL okayama@kk-okayama.co.jp](mailto:okayama@kk-okayama.co.jp)